

様式第2号

岡山労災病院臨床倫理小委員会
審査結果通知書

令和4年7月27日

申請者
薬剂部長
竹田 克明 殿

臨床倫理小委員会委員長
矢野 朋文 印



受付番号 358

「院外処方箋における疑義照会内容の変化（2019年との比較調査）」

責任者 所属 薬剂部 部長 竹田 克明

記

〈判定〉	
承認 変更の勧告	・ 条件付承認 ・ 不承認 ・ 非該当
〈理由又は勧告〉	

臨床研究名: 院外処方箋における疑義照会内容とその対応

岡山労災病院薬剤部では、以下の研究を行っています。

当研究では、患者さんからのカルテデータ使用についての同意がなかったものについては使用していません。また同意した後に同意撤回することも可能です。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。

研究題名	院外処方箋における疑義照会内容の変化(2019年との比較調査)
対象患者	院外処方箋で、保険薬局から疑義照会あったもの
研究目的及び内容	院外処方箋における疑義照会内容について、2019年度調査で「用法・用量の疑義」と「同成分・同効薬の重複」が問題点として挙げられた。「用法・用量の疑義」においては照会後の変更割合が46.2%と低く、その内容は湿布薬の1日用量記載の不備が多数を占めていた。「同成分・同効薬の重複」については、疑義照会全体の18%を占めており、変更率は91.1%であったことから、オーダー時の確認不足や同成分薬重複処方時の警告突破等が示唆された。そこで医療安全委員会で検討を行った結果、湿布薬の1日用量記載不備については、オーダーシステムの改善と薬局会等での医師への周知、重複処方については、医師への注意喚起を行った。そこで上記対策後の疑義照会内容の変化について調査を行い、対策の評価とともに、新たな問題点の抽出を目的とした調査である。
使用する患者情報等	院外処方箋疑義照会内容を「記載漏れ」、「日数調整」、「用法用量の疑義件数と疑義照会による変更率」、「一包化や剤型変更」、「処方漏れ」、「同種同効薬の重複と疑義照会による変更率」、「その他」の項目に分類し内容調査するため、個人が同定できる情報は用いない。
研究担当者	所属・職名: 薬剤部・薬剤師 氏名: 千田純子
研究分担者	共同研究所属: 薬剤部
	共同研究者: 高取俊和、前田貴人、東山千央、岡本和久、 沖田健太郎、竹田克明
研究期間	西暦 2021 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 9 月 1 日
研究区分	<input type="checkbox"/> 臨床研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 ・ <input type="checkbox"/> その他
倫理審査の有無	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (決済日: 2022年 7月 27日 承認No. 358)
利益相反の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (決済日: 年 月 日)
医薬品や物品の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名称: 年 月 日)
学会発表・論文投稿	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (日本医療薬学会第32回年会で発表)
問い合わせ先 相談窓口	所属: 薬剤部 氏名: 竹田克明
	TEL: 086-262-0131(代) FAX: 086-262-1780
備考	